



NPO PTPL “ともいき” 便り No.16

■ 小雪（しょうせつ）号（2012年11月23日発行）

太陽暦の11月22日から12月7日までが、「小雪」の節気。東京では木枯らしは、すでに18日に吹き冷たい北風に驚かされました。

11月23日は「勤労感謝の日」ですが、戦前までは新嘗祭（^{にいなめさひ}天皇が新しい穀物を天神地祖にすすめ、ご自分でも召し上がる儀式が行われる日）でした。

これに先立つ儀式は10月17日の神嘗祭（^{かんなめさひ}今年の新米を伊勢神宮に奉納する日）です。新嘗祭の儀式は、これと対を成すものなのでしょう。自然のめぐみへの感謝を、国の儀式で表す伝統。日本らしい行事だと思います。

さて、いま、住まいの周辺で見える晩秋の自然は

- ①裏の墓地の櫟の大樹。一日ごとに色合いを変えていく紅葉（麻布山善福寺）。
- ②小さな柿の実。塀から身を乗り出し、見てよと言わんばかりの鈴なり（臨済宗天真寺：港区南麻布）。
- ③ オシロイバナ。名残の赤い花と蕾を温めている小春日和の陽の光（中央図書館近くの道ばた）
- ④南仏を思い出させる生け垣のピラカンサの赤い実（仙台坂上の高額住宅街）。
- ⑤植木屋さんの季節らしく法被姿と地下足袋の手際の良い動き。
- ⑥塀の内側に並べられている、四角い形に束ねられた落葉。
- ⑦桜並木は赤い並木。いわゆる「もみじ」ではないけれど、秋のお色直し。

こうして今年も秋は冬へと変わっていきます。季節の「うつろい」が身にしみるところですね。お元気ですか。

◎一日一回「ともいき暦」を開いて楽しみましょう。www.tomoiki.tv/calendar/

驚きの「尊厳の芸術」展（The Art of Gaman）

太平洋戦争が勃発した翌1942年、米国は日系アメリカ人約12万人を強制収

容所に隔離収監。これらの市民は強制的な立ち退きを命じられ、手荷物以外は持ち込みが許されず、収容所に連行されました。住まいは砂嵐が部屋に舞い込むような、にわかづくりのバラックでした。

終戦後、これら強制収容所は閉鎖され、1988年にはアメリカ政府による公式謝罪と、強制収容所の入所者への補償が実現しました。

「がまんの芸術」について、主催者は次のように記しています。

「砂漠などに建てられた強制収容所の中で、限られた材料と道具をもとに作られた美術工芸品や日用品の数々です。作品に施されて見事な装飾や優れた造形からは、生活を少しでも豊かにしようとする日系アメリカ人たちの尊厳が感じられます。(中略) 厳しい環境の中で優れたものづくりに取組んだ日系アメリカ人たちの“不屈の精神”や“創造性”に触れていただければ幸いです。」

強制収容所で、日系アメリカ人たちは大工道具もなく、ナイフやハサミを自分たちの工夫で廃材から造りだし、それらを使って実に多彩な工芸制作を行っていました。椅子、小引き出し、そろばん、籠やざるなど生活用具をはじめ、仏壇、硯、表札などアイデンティティにかかわる品々。さらには生活を彩る動物の彫刻や、花札などの遊具。

女性たちはブローチなどの装身具や人形など、美への憧れと、創作でがまんをしていたのです。花や蕾に用いる素材は、土を掘って探し出した貝がら。

一体どのような発想を持ち、どのようにして素材を集め、どのように工夫して、それら多彩な、しかも芸術性高い「物づくり」をすることができたのでしょうか。

絶望的な過酷な環境の中で、人間とはこのように創造性を発揮することができるのか、との思いが強く湧きました。「がまんのアート」は日系の人たちに継承された日本人の物づくりのDNAだからできたのではないか。そして、これらは私たちに希望を語っていると思いました。

いわゆる芸術家たちに、創造とはどういうことか、を問いかけているような批評の作品でもあるように思えました。

12月9日まで上野東京芸術大学美術館で（入場無料）

時間のある方は、ぜひご覧になられることをお勧めいたします。

人間とは、創造とは、の本質、根源を考える機会になるでしょう。

朝倉 勇 NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事

■ 事務局だより

◎facebook「ともいきぐらし」への投稿をお待ちしております。

是非とも、皆さまの日常生活の中でこれは「ともいきぐらし」にふさわしいと実践されていることや、日ごろお考えのことやお住まいの地域での行事などをお寄せください。（可能であれば写真を1点つけていただければ幸いです。）

事務局で責任を持って氏名入りでアップさせていただきます。

<http://www.facebook.com/tomoikigurashi>

◎2013年度版「ともいき暦」について

年末に向けて2013年度版「ともいき暦」のサイトアップの作業に取り掛かっています。よりよい暦にするため、内容の充実はもとより、もっと映像を取り入れ楽しんでいただけるよう作業しております。是非、ご期待ください。

◎ お近くにお越しの際は、お気軽にNPO事務局へお立ち寄りください。

実際にお会いして、NPOの活動やfacebook、ともいき便りなどのご意見、ご感想をお聞かせください。

さらに、お知り合いの方で、NPOの活動にご賛同いただける方がいらっしゃいましたらお連れください。賛同者の輪を広げていきたいと思えます。

ご協力のほど、よろしく願いいたします。

■お問合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒108-0073 東京都港区三田 2-21-11 パークハイム三田 103 号

電話：03-6436-0335 FAX：03-6436-0337 Email：info@plantatree.gr.jp